

NTT 札幌病院に通院中の患者様へ

- 研究課題名：
高齢糖尿病患者における入院時の身体機能と経時的な血糖コントロールの関係性についての検討
- 研究機関：NTT 東日本札幌病院リハビリセンター
研究責任者：三浦徹也（理学療法士）
研究分担者：永井 聡
- 研究の意義と目的
高齢糖尿病患者は身体機能が低下しやすく、身体機能の低下と糖尿病の進行も関連性があることが明らかになっています。当院でも糖尿病教育入院を行う糖尿病患者に対して、身体機能評価を実施していますが、入院時の身体機能と退院後の血糖コントロールの関係性については明らかになっていません。そこで本研究の目的は、高齢糖尿病患者における入院時の身体機能と退院後3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月のHbA1c値の関係性を明らかにすることとしました。本研究結果により、高齢糖尿病患者に対する身体機能評価の重要性と、運動療法による身体機能向上の重要性がより明確になると考えられます。
- 観察研究の対象：
本研究の対象となる患者は、2019年～2026年間に、当院で糖尿病教育入院をされた65歳以上の患者様です。ご利用させていただくカルテ情報は下記の通りです。
①基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、HbA1c値
②医学的情報：診断名、既往歴
③理学療法評価：SPPBテスト、握力、10m歩行速度
- 研究実施期間：倫理委員会承認日～西暦2027年3月31日
- 被検者の保護：
本研究に関するすべての責任者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月WMA）フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）に従って本研究を実施します。
- 個人情報の保護：
患者の情報は、個人を特定できる情報とは切り離したうえで使用します。また、研究成果を学会や学術論文で発表しますが、患者個人を特定できる個人情報は含みません。
- 利益相反について
本件研究の責任者及び分担者には開示すべき利益相反はございません。
- 同意の取得について

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）第8の1（2）イの規定により、研究者などは、被験者からインフォームドコンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。その為今回の研究では患者様からの同意取得はせず、その代わりに対象となる患者様へ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者様でご自身の情報は利用しないでほしいなどのご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

- お問い合わせ先：
NTT 東日本札幌病院 リハビリセンター
電話：011-623-8200
研究担当者：三浦 徹也（理学療法士）